



ブルーライトで 医療従事者応援

鑄造大手の虹技（本社 兵庫県姫路市、山本幹雄社長）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療従事者への感謝と応援の気持ちを込め、東工場（姫路市）出入口にあるマンホールモニユメントのライトアップを青色で照らしている。

モニユメントは、同社が生産しているマンホールカバー型で、創業100周年を記念し、社内公募で決定したデザイン（左）と、本社所在地である播州地方の秋祭りに登場する屋台と獅子（右）をデザインしたものを、同社では4月にも、災害時用に備蓄していたビニール製雨がっぱ600枚を、医療従事者向けとして姫路市に寄贈。今回、感謝の気持ちを示したいとして、ブルーライトアップを、国際看護師の日である5月12日から行っている。